

# 5 河原 創

MF So KAWAHARA



5月攻勢始動!

# 3連勝へ躍動する!

先制点こそ許したものの、FW横山歩夢のJ1初ゴールを含む5ゴールを挙げて快勝した前節・川崎F戦。失点をして、ゴールを挙げて、攻守で前へと果敢に出ていくサガン鳥栖のスタイルを買ったことがこの勝利につながった。川井監督体制3年目で初の連勝を手にし、チームの勢いはさらに増した。

今節、ホーム・駅前不動産スタジアムで迎え撃つのは、7位・名古屋。今季は開幕から3連敗とつまずいたが、その後は確実に白星を重ねている。前節・FC東京戦では、第2節・町田戦以来で先発に復帰したFWキャスパー ユンカーがハットトリックを達成して3-1で勝利を手にした。3-4-2-1のフォーメーションから、ユンカーやFW永井謙佑などを中心としたスピードあふれる攻撃が特徴だ。守備では堅実なセービングを見せるGKランゲラックを軸に安定している。鳥栖としては、前線からプレスに行くスタイルをキープして積極的に攻める姿勢を出しながら、リスク管理も求められる。

今季も総走行距離リーグトップをひた走る鳥栖のダイナモ・MF河原創は、「名古屋の後ろは堅いと思いますし、縦に速いカウンター攻撃もある。そこは注意しながら、守備の時間だけにならず、自分たちのテンポやペースに持っていければいい」と話した。川崎F戦ではFWマルセロ ヒアンとFW河田篤秀のゴールをアシストしているだけに、彼の繰り出すパスにも注目を。名古屋の速い攻撃陣を止めるのはDFキム テヒョンだ。「相手攻撃陣には高さや速さがあるが、それは自分のストロングポイントでもある。相手の良さを抑えながら、自分たちの良さを出したい」と意気込み、「名古屋は堅いチームですが、しっかり叩いて勝点3を取る」と続けた。

自分たちのストロングが何なのかを再認識し、それを前面に押し出した戦い方で連勝を掴んだ鳥栖。チームのスタイルを貫き、信じる道をさらに突き進むことが3連勝につながる。チームとサポーターが一岩となり、難敵・名古屋を撃破して、5月攻勢をさらに加速させる!

# 20 キム テヒョン

DF KIM Tae Hyeon



チケットの購入はコチラ



NEXT HOME GAME

VS FC東京

2024 JリーグYBCルヴァンカップ 1stラウンド3回戦 @駅前不動産スタジアム

5.22 [水] 19:00 KICK OFF



©FC TOKYO

NEXT AWAY GAME

VS アビスパ福岡

2024明治安田J1リーグ 第18節 @ベスト電器スタジアム

6.16 [日] 15:30 KICK OFF



©1995 FUKUOKA BLUX CO.,LTD.